



武田薬品工業株式会社
 代表取締役社長 長谷川 閑史
 (コード番号 4502 東証第1部)
 問い合わせ先 コーポレート・コミュニケーション部
 TEL 03-3278-2037

2010年6月2日

大阪工場・光工場における廃棄物ゼロエミッション達成について

当社は、国内の主要生産拠点である大阪工場、光工場において、「廃棄物ゼロエミッション」を2009年度に達成しましたのでお知らせします。両工場では、ゼロエミッションに向けた廃棄物の削減および再資源化への取り組みを、2007年度より4年計画で進めてきましたが、このたび、当初目標である2010年度を、1年前倒しで達成することができました。

廃棄物削減における基本姿勢として、当社では、廃棄物発生量そのものの削減にとどまらず、生産現場における環境負荷の少ない生産工程の導入や、異業種産業(企業)との連携を通じた廃棄物再利用などにより、最終処分量を削減し、循環型社会の形成に貢献することを目指しています。

本年度からは、生産現場などで発生した不用品の再利用を促進するため、新たに、ネットシェアリングシステム^{※1}を導入するなど、さらなる廃棄物削減に向けた取り組みを進めていきます。

当社製薬本部長 隠居孝志は「従業員の一丸となった取り組みを通して、当初目標を1年前倒しで達成したことを大変嬉しく思います。引き続き、徹底した廃棄物削減活動を推進し、地球環境に配慮したグローバル製薬企業に相応しい生産活動に努めてまいります」と述べています。

※1 ネットシェアリングシステム:

事務用品、什器備品などの消耗品および生産機器・分析機器を対象とし、それらが不要な部門と必要な部門を、イントラネットを通して仲介するシステム。環境に対する関心を高め、廃棄物を極力出さない意識を形成することを目的としている。

<ゼロエミッション活動の定義と目標指標>

◆ゼロエミッション活動の定義:

「産業廃棄物と一般廃棄物の発生を削減すると共に、発生した廃棄物の再資源化を進め、埋立処分量を限りなくゼロに近づける活動」

◆目標指標:

2010年度に「最終埋立処分量率0.5%以下、再資源化率90%以上、直接埋立処分量ゼロ」をクリアし、リサイクル率^{※2}99%以上を達成する。

◆年度別実績推移:

	目標値 (2010年度達成予定)	2006年度 (活動開始前年実績)	2009年度 (実績)
最終埋立処分量率(%)	0.5%以下	0.75%	0.2%
再資源化率(%)	90%以上	69.7%	95.4%
直接埋立処分量(トン)	ゼロ	33トン	ゼロ
リサイクル率(%)	99%以上	98.9%	99.8%

※2 リサイクル率=再資源化量/(最終埋立処分量+再資源化量)

以上